

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「災害時小児・周産期医療体制の構築と認知向上についての研究」

（研究代表者 海野信也（北里大学医学部教授））総括・分担研究報告書

研究業績

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 菅原準一 災害時の周産期危機管理 会長特別企画「災害時の周産期医療と危機管理」第70回日本産科婦人科学会学術講演会 仙台 2018年5月11日
- 2) 津田尚武 災害時の周産期ネットワーク 会長特別企画「災害時の周産期医療と危機管理」第70回日本産科婦人科学会学術集会 仙台 2018年5月11日
- 3) 伊藤友弥 災害時に母と子を守るために 院外のネットワーク 第54回 日本周産期新生児医学会ランチョンセミナー 東京 2018年7月9日
- 4) 伊藤友弥 災害時小児周産期リエゾン 厚労科研の方向性（指定発言）第54回 日本周産期・新生児医学会 東京 2018年7月10日
- 5) 伊藤友弥 災害時小児周産期リエゾン 新しい災害支援のあり方 沖縄周産期ネットワーク協議会 2018年7月13日
- 6) 伊藤友弥 小児領域における災害対策 豊能広域こども急病センター救急医療研究会 2018年9月8日
- 7) 大木 茂 「周産期災害対策 地域の赤ちゃんを守るために NICUスタッフがなすべきこと」第13回新生児集中ケア認定看護師会勉強会 特別講師、2018年9月8日
- 8) 大木 茂 「災害時の情報伝達システム」周産期災害シンポジウム 第39回静岡県周産期新生児研究会、静岡市、2018年9月29日
- 9) 海野信也 災害時小児周産期リエゾンの役割」シンポジウム「大規模災害と周産期医療」第45回日本産婦人科医会学術集会 大阪 2018年10月7日
- 10) 井田孔明 災害時の小児医療支援について 第392回川崎市小児科医会症例検討会 2018年11月27日
- 11) 井田孔明 災害時とその後の母子支援を目指して：日本小児科学会の活動を中心に 平成30年度母子保健シンポジウム～災害時における子どもの心と体のケア～ 2019年3月6日
- 12) 菅原準一、災害時小児周産期リエゾン活動の実際と産婦人科災害対応システム、宮城県災害時小児周産期リエゾン研究会 仙台、2019年3月17日
- 13) 井田孔明 災害時の小児医療支援と災害への備え 第356回日本小児科学会神奈川県地方会 2019年3月30日

### 3. 普及・啓発活動

- 1) 菅原準一、平時からの周産期領域災害対策・危機管理、秋田県周産期医療人材育成事業第68回遠隔テレビ会議(秋田大学、秋田赤十字病院、能代厚生医療センター、大曲厚生医療センター)、秋田、2018年6月25日
- 2) 井田孔明 大災害時の小児医療支援 ラジオNIKEEI「小児科診療UP-to-DATE」 2018年12月21日放送
- 3) 厚生労働省 平成30年度災害時小児周産期リエゾン養成研修への講師及びインストラクターとしての参画  
研究代表者:海野信也  
研究分担者:岬美穂・伊藤友弥・菅原準一・大木茂・鈴木真・津田尚武
  - 1) 第1回:平成30年9月16日-17日
  - 2) 第2回:平成30年10月27日-28日
  - 3) 第3回:平成31年2月16日-17日